

第105回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

損	益	消 耗 品 費	発 送 費	現 金
固定資産売却損	売 上 金	仮 受 金	未 収 入 金	
売 掛 金	前 受 金	当 座 預 金	車 両 運 搬 具	
前 払 金	通 信 費	資 本 金	受 取 手 形	
買 掛 金	仕 入	車両運搬具減価償却累計額	支 払 手 形	
雑 損	当 座 借 越	固 定 資 産 売 却 益	未 払 金	
仮 払 金				

- 笠原商店から商品 ¥ 300,000 を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。ただし、当座預金の残高は ¥ 200,000 であったが、宇野銀行と当座借越契約を結んでおり、借越限度額は ¥ 400,000 である。なお、引取運賃 ¥ 10,000 は現金で支払った。
- 営業用の小型自動車（取得原価：¥ 2,000,000、残存価額：取得原価の10%、耐用年数：4年）を3年間使用し、すでに3期（決算：年1回）にわたって減価償却をしてきたが、この自動車を ¥ 300,000 で売却し、代金は月末に受け取ることにした。ただし、減価償却費の計算は定額法、記帳は間接法を用いている。
- 月末に、会計係は、小口現金係から本月分の小口現金の支払高について、次のとおり報告を受けたので、ただちに、小切手を振り出して資金の補給をした。ただし、定額資金前渡法を採用している。
 - ・通信費：¥ 40,000
 - ・消耗品費：¥ 20,000
- 孫商店に商品 ¥ 300,000 を売り渡し、代金は内金 ¥ 50,000 を差し引き、残額は同店振出しの約束手形で受け取った。なお、発送のための諸費用（当店負担）¥ 10,000 は現金で支払った。
- 損益勘定の記録によると当期の収益総額は ¥ 300,000 で、費用総額は ¥ 200,000 であった。この差額を資本金勘定に振り替えた。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕 入	310,000	当 座 預 金 当 座 借 越 現 金	200,000 100,000 10,000
2	車両運搬具減価償却累計額 未 収 入 金 固 定 資 産 売 却 損	1,350,000 300,000 350,000	車 両 運 搬 具	2,000,000
3	通 信 費 消 耗 品 費	40,000 20,000	当 座 預 金	60,000
4	前 受 金 受 取 手 形 発 送 費	50,000 250,000 10,000	売 上 現 金	300,000 10,000
5	損 益	100,000	資 本 金	100,000